



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場取引所 東・大

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス

コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,361	2.9	2,006	6.3	1,834	5.1	1,000	△7.4
24年3月期第2四半期	23,670	△0.6	1,887	23.8	1,745	31.6	1,080	18.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 958百万円 (△13.1%) 24年3月期第2四半期 1,102百万円 (33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	39.79	—
24年3月期第2四半期	42.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	85,586	15,303	17.9	608.06
24年3月期	75,382	14,571	19.3	578.96

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,294百万円 24年3月期 14,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	19.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	2.6	4,000	2.7	3,700	4.0	2,000	—	79.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）前田機工株式会社

（注）詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	25,163,727株	24年3月期	25,163,727株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	10,985株	24年3月期	10,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	25,152,819株	24年3月期2Q	25,152,890株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	12
4. その他	14
(1) 株式取得に関する株式譲渡契約締結	14
(2) 事業の内容	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2012年4月1日～2012年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要などから堅調に推移するものの、欧州諸国における債務問題の長期化、中国経済の減速など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、株式会社イチネンホールディングスを純粋持株会社とし、傘下の各事業会社が独立経営を進めながら、グループ一体経営を推進しております。

現在、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の各事業を展開しており、「カーシェアリング事業」、「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」にも参入しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、243億61百万円(対前年同期比2.9%増)、営業利益は20億6百万円(対前年同期比6.3%増)、経常利益は18億34百万円(対前年同期比5.1%増)、四半期純利益は10億円(対前年同期比7.4%減)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<リース事業>

リース事業におきましては、中小規模の企業を中心にリース化の進んでいない車両需要先をターゲットに新規販売を積極的に行いリース契約の増加に努め、既存顧客との取引深耕にも注力いたしました。また、依然としてリース契約車両は小型化傾向にありますが、エコカー補助金による新車入替効果もあり、契約台数が順調に伸びました。

この結果、2012年9月末現在リース契約台数は58,849台(対前期末比856台増)となり、リース契約高は120億16百万円(対前年同期比22.6%増)、リース未経過契約残高は461億92百万円(対前期末比3.1%増)となりました。

損益面では、低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、採算販売の徹底により売上総利益率の改善に取り組んでまいりました。この結果、売上高は117億37百万円(対前年同期比3.9%増)、セグメント利益は7億68百万円(対前年同期比20.5%増)となりました。

なお、2011年1月より参入いたしましたカーシェアリング事業については、早期に軌道に乗せることを目指し、会員獲得に努めております。

<自動車メンテナンス受託事業>

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社グループ独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い、収益向上に努めてまいりました。

この結果、メンテナンス受託契約高は29億37百万円(対前年同期比18.7%増)、メンテナンス未経過契約残高は69億41百万円(対前期末比8.6%増)となりました。

損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。また、中古自動車の販売数量は堅調に推移いたしましたが、エコカー補助金の影響により中古車市場の相場下落の影響を受けました。この結果、売上高は40億27百万円(対前年同期比4.4%増)、セグメント利益は2億86百万円(対前年同期比6.8%増)となりました。

<燃料販売事業>

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力いたしました。

損益面では、自動車用燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施しましたが、好調に推移した前年同期に、若干及びませんでした。

この結果、売上高は12億38百万円(対前年同期比9.6%減)、セグメント利益は3億20百万円(対前年同期比7.0%減)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤の販売数量は前年同期比で増加となりました。また、化学品関連では、機械工具商向け化学品やホームセンター等で販売される個人向け自動車ケミカル製品等は好調に推移いたしました。また、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数がやや減少しました。

この結果、売上高は53億43百万円（対前年同期比0.7%減）、セグメント利益は3億68百万円（対前年同期比8.3%減）となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

この結果、2012年9月末現在駐車場管理件数は669件（対前期末比48件増）、管理台数は17,157台（対前期末比1,047台増）となりました。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は18億54百万円（対前年同期比5.9%増）、セグメント利益は1億49百万円（対前年同期比1.4%増）となりました。

<その他>

その他におきましては、卸売自動車用品の販売高が好調に推移いたしました。また、保険等も安定した収益を確保いたしました。

この結果、売上高は4億16百万円（対前年同期比77.0%増）、セグメント利益は1億8百万円（対前年同期比30.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は362億4百万円となり、前連結会計年度末残高310億84百万円と比べて51億20百万円増加いたしました。これは連結子会社の取得等に伴う「受取手形及び売掛金」の増加33億54百万円、「現金及び預金」の増加8億49百万円及び「商品及び製品」の増加9億15百万円、自動車税の納付による「前払費用」の増加6億43百万円、ファイナンス・リース取引の契約残高の減少による「リース投資資産」の減少5億50百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は493億49百万円となり、前連結会計年度末残高442億56百万円と比べて50億93百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「貸貸資産」の増加26億7百万円、連結子会社の取得等に伴う「土地」の増加4億26百万円、有形固定資産の「その他」の増加8億86百万円及び「のれん」の増加7億64百万円、「投資有価証券」の購入等による増加2億73百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は31百万円となり、前連結会計年度末残高41百万円と比べて9百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第2四半期連結会計期間末残高855億86百万円となり、前連結会計年度末残高753億82百万円と比べて102億3百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は393億46百万円となり、前連結会計年度末残高309億67百万円と比べて83億79百万円増加いたしました。これは、「短期借入金」の増加32億2百万円、「コマーシャル・ペーパー」の増加15億円、「1年内償還予定の社債」の増加9億60百万円、「1年内返済予定の長期借入金」の増加6億3百万円、連結子会社の取得等に伴う「支払手形及び買掛金」の増加21億24百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は309億35百万円となり、前連結会計年度末残高298億44百万円と比べて10億91百万円増加いたしました。これは「長期借入金」の増加27億91百万円、「社債」の減少18億80百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第2四半期連結会計期間末残高702億82百万円となり、前連結会計年度末残高608億11百万円と比べて94億71百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は153億3百万円となり、前連結会計年度末残高145億71百万円と比べて7億31百万円増加いたしました。これは、「四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加10億円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少2億26百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より8億31百万円増加し、25億23百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△23億33百万円（前年同期は2億90百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が17億94百万円となったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「貸貸資産の純増減額（△は増加）」△56億68百万円が「減価償却費」34億95百万円を上回ったこと、自動車税の納付による前払費用の増加等により「その他」が△11億37百万円となったこと及び「法人税等の支払額」△8億28百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△25億12百万円（前年同期は△2億20百万円）となりました。これは主に、機械工具販売事業及び合成樹脂事業に係る「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」△16億77百万円、パーキング事業における機器及び構築物の購入等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△7億32百万円及び「投資有価証券の取得による支出」△2億21百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、56億76百万円（前年同期は△3億59百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」142億21百万円が「借入金の返済による支出」△88億29百万円を上回ったこと、「コマーシャル・ペーパーの発行による収入」240億円が「コマーシャル・ペーパーの償還による支出」△225億円を上回ったこと及び「社債の償還による支出」△9億20百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、現時点では、2012年7月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、当社は2012年8月22日付で前田機工株式会社、2012年9月27日付で株式会社ジコーの株式を取得し、子会社化いたしました。現時点の通期の業績予想には、本件株式の取得による影響を考慮しておりません。業績への具体的な影響額については精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、前田機工株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,702,426	2,551,869
受取手形及び売掛金	5,855,602	9,210,577
リース・メンテナンス未収入金	1,755,711	1,951,808
リース投資資産	17,230,952	16,680,222
商品及び製品	728,103	1,643,682
仕掛品	75,321	73,037
原材料及び貯蔵品	238,991	280,743
前払費用	1,605,328	2,248,350
繰延税金資産	821,698	640,821
その他	1,071,522	942,771
貸倒引当金	△1,000	△19,200
流動資産合計	31,084,660	36,204,682
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	46,183,463	49,180,411
減価償却累計額	△24,911,290	△25,300,869
貸貸資産(純額)	21,272,173	23,879,541
土地	9,001,386	9,428,204
その他	9,470,599	11,073,306
減価償却累計額	△5,859,213	△6,575,091
その他(純額)	3,611,385	4,498,214
有形固定資産合計	33,884,945	37,805,960
無形固定資産		
のれん	4,781,111	5,545,782
その他	416,311	406,937
無形固定資産合計	5,197,423	5,952,720
投資その他の資産		
投資有価証券	2,007,184	2,280,693
長期前払費用	1,062,254	1,126,445
繰延税金資産	915,057	814,583
その他	1,461,243	1,580,457
貸倒引当金	△271,793	△211,023
投資その他の資産合計	5,173,946	5,591,156
固定資産合計	44,256,315	49,349,837
繰延資産	41,648	31,728
資産合計	75,382,624	85,586,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,011,413	10,135,553
短期借入金	5,716,000	8,918,397
コマーシャル・ペーパー	1,000,000	2,500,000
1年内償還予定の社債	1,800,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	11,052,025	11,655,196
リース債務	574,041	507,831
未払法人税等	845,687	402,003
リース・メンテナンス前受金	698,512	649,569
賞与引当金	374,000	518,000
品質保証引当金	—	42,498
その他	895,426	1,257,835
流動負債合計	30,967,107	39,346,885
固定負債		
社債	5,090,000	3,210,000
長期借入金	22,978,624	25,769,838
リース債務	524,523	404,703
退職給付引当金	604,337	774,983
役員退職慰労引当金	132,743	161,950
資産除去債務	176,806	186,443
その他	337,006	427,996
固定負債合計	29,844,042	30,935,916
負債合計	60,811,149	70,282,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529,135	2,529,135
資本剰余金	4,155,974	4,155,974
利益剰余金	7,940,673	8,715,152
自己株式	△6,026	△6,074
株主資本合計	14,619,756	15,394,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57,202	△99,849
その他の包括利益累計額合計	△57,202	△99,849
新株予約権	8,920	8,920
少数株主持分	—	187
純資産合計	14,571,475	15,303,446
負債純資産合計	75,382,624	85,586,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
売上高	23,670,596	24,361,363
売上原価	17,421,521	18,103,525
売上総利益	6,249,075	6,257,838
販売費及び一般管理費		
役員報酬	255,940	264,654
給料手当及び賞与	1,511,250	1,447,915
賞与引当金繰入額	439,118	376,955
退職給付費用	137,449	133,495
役員退職慰労引当金繰入額	18,672	18,047
貸倒引当金繰入額	△7,007	△10,918
のれん償却額	208,278	209,411
その他	1,797,575	1,811,489
販売費及び一般管理費合計	4,361,277	4,251,050
営業利益	1,887,797	2,006,787
営業外収益		
受取配当金	29,051	29,901
その他	53,085	19,958
営業外収益合計	82,137	49,860
営業外費用		
支払利息	175,357	145,540
支払手数料	15,368	34,527
その他	33,816	41,644
営業外費用合計	224,541	221,712
経常利益	1,745,393	1,834,935
特別利益		
固定資産売却益	—	14
投資有価証券売却益	—	1,445
特別利益合計	—	1,460
特別損失		
固定資産除売却損	33,379	33,038
投資有価証券売却損	—	2,938
投資有価証券評価損	3,082	5,539
特別損失合計	36,462	41,517
税金等調整前四半期純利益	1,708,931	1,794,878
法人税、住民税及び事業税	704,332	332,932
法人税等調整額	△75,821	461,092
法人税等合計	628,511	794,024
少数株主損益調整前四半期純利益	1,080,420	1,000,854
四半期純利益	1,080,420	1,000,854

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,080,420	1,000,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,131	△42,647
その他の包括利益合計	22,131	△42,647
四半期包括利益	1,102,552	958,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,102,552	958,206
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,708,931	1,794,878
減価償却費	3,090,522	3,495,585
のれん償却額	208,278	209,411
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,056	△14,277
受取利息及び受取配当金	△31,845	△31,314
支払利息	175,357	145,540
売上債権の増減額(△は増加)	△306,553	13,163
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,312	△35,435
リース投資資産の純増減額(△は増加)	564,792	421,472
貸貸資産の純増減額(△は増加)	△3,538,578	△5,668,007
仕入債務の増減額(△は減少)	△427,806	△755,901
利息及び配当金の受取額	32,308	31,329
利息の支払額	△185,920	△142,859
法人税等の支払額	△221,241	△828,392
法人税等の還付額	256,160	169,062
その他	△937,361	△1,137,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,674	△2,333,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△232,280	△732,227
有形及び無形固定資産の売却による収入	60	103,008
固定資産の除却による支出	△3,362	△2,952
投資有価証券の取得による支出	△27,324	△221,135
投資有価証券の売却による収入	—	36,081
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,677,770
その他	42,849	△17,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,057	△2,512,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,250,000	7,192,000
短期借入金の返済による支出	△1,266,700	△4,100,000
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	11,500,000	24,000,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△10,500,000	△22,500,000
長期借入れによる収入	4,950,000	7,029,000
長期借入金の返済による支出	△5,059,378	△4,729,366
社債の発行による収入	995,431	—
社債の償還による支出	△1,950,000	△920,000
リース債務の返済による支出	△31,581	△30,971
配当金の支払額	△226,376	△226,375
その他	△21,062	△37,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,667	5,676,509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△289,051	831,029
現金及び現金同等物の期首残高	2,286,558	1,692,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,997,507	2,523,456

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース 事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキン グ事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高												
外部顧 客への 売上高	11,225,224	3,722,540	1,359,829	5,382,212	1,745,579	-	-	23,435,386	235,210	23,670,596	-	23,670,596
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	76,426	137,435	10,258	-	5,315	-	-	229,436	-	229,436	(△229,436)	-
計	11,301,650	3,859,976	1,370,088	5,382,212	1,750,894	-	-	23,664,822	235,210	23,900,032	(△229,436)	23,670,596
セグメン ト利益	637,282	268,129	344,392	401,602	147,094	-	-	1,798,500	83,297	1,881,797	6,000	1,887,797

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース 事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキン グ事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高												
外部顧 客への 売上高	11,664,797	3,871,359	1,214,090	5,343,583	1,851,282	-	-	23,945,113	416,249	24,361,363	-	24,361,363
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	72,319	156,586	24,509	-	2,736	-	-	256,151	-	256,151	(△256,151)	-
計	11,737,117	4,027,946	1,238,599	5,343,583	1,854,019	-	-	24,201,265	416,249	24,617,515	(△256,151)	24,361,363
セグメン ト利益	768,197	286,339	320,424	368,074	149,134	-	-	1,892,170	108,616	2,000,787	6,000	2,006,787

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の5つの報告セグメントとしておりましたが、今後の事業領域の拡大と将来の更なる企業価値向上のため、2012年8月22日付で前田機工株式会社、2012年9月27日付で株式会社ジコーの株式を取得し、子会社化いたしました。

これに伴いセグメントの見直しを行い、当第2四半期連結会計期間より「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」を含めた7区分に変更いたしました。

各報告セグメントの概要は、以下のとおりであります。

- | | |
|-------------------|--|
| (1) リース事業 | …自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業、カーシェアリングサービスの提供並びにリース満了車等の処分 |
| (2) 自動車メンテナンス受託事業 | …自動車メンテナンスの受託及びこれに付随する中古自動車の販売業務、自動車の点検、法定点検及び整備等の自動車整備業 |
| (3) 燃料販売事業 | …石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集 |
| (4) ケミカル事業 | …ケミカル製品（自動車用、機械・設備用、工業用等）の製造・販売 |
| (5) パーキング事業 | …来客用駐車場及びコイン駐車場の運営 |
| (6) 機械工具販売事業 | …機械工具及び自動車整備工具の販売 |
| (7) 合成樹脂事業 | …合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売 |

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械工具販売事業」セグメントにおいて、前田機工株式会社の株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社1社を新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが19,218千円増加しております。

また、「合成樹脂事業」セグメントにおいて、株式会社ジコーの株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社2社を新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが937,864千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定された金額であります。

4. その他

(1) 株式取得に関する株式譲渡契約締結

(株式会社ジコーの株式取得)

当社は、2012年9月27日開催の取締役会において、株式会社ジコーの株式を同日付で取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

①株式取得の理由

当社グループは、自動車マーケットにおける収益基盤を主軸としながらも、既存の事業領域の枠にとらわれず、幅広くお客様に「快適さ」を提供し、社会に貢献できる事業の拡大を目指したいと考えており、そのためには、当社グループの事業ポートフォリオを変更し、積極的な新規事業セグメントへの参入が不可欠であると認識しております。

このたび、株式を取得いたしました株式会社ジコーは、合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売等を展開しており、従来の当社グループには無い事業領域での製品開発力や技術力に加え、磐石な営業基盤を有する企業であります。今後、同社の事業を当社グループの新規事業と位置付け、当社グループの経営資源を投入することで、より一層の事業の拡大を目指してまいります。

②株式取得の相手の名称

田村 昭夫氏、田村 朋子氏、長寄 和子氏

③株式取得する会社の名称、事業内容、規模

ア. 名称	: 株式会社ジコー
イ. 事業内容	: 合成樹脂製品の設計・製造・販売 合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料販売
ウ. 規模	: 資本金 167百万円 純資産 662百万円 (2012年3月期) 総資産 2,538百万円 (2012年3月期) 売上高 6,441百万円 (2012年3月期) 当期純利益 242百万円 (2012年3月期)

④株式取得の時期

ア. 取締役会決議	: 2012年9月27日
イ. 株式譲渡契約締結日	: 2012年9月27日
ウ. 株式取得日	: 2012年9月27日

⑤取得する株式数、取得価額及び取得後の持分比率

ア. 取得株式数	: 285,000株
イ. 取得価額	: 相手方との守秘義務契約を締結しているため、開示を控えさせていただきます。
ウ. 取得後の持分比率	: 100%

⑥資金の調達方法

自己資金及び銀行借入

(2) 事業の内容

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、前田機工株式会社及びその子会社である株式会社トライアップ並びに株式会社ジコー及びその子会社である株式会社ジコーテック、株式会社ジコーポリマー、ジコーインターナショナルLTD.を子会社化したことに伴ってセグメントの見直しを行い、「機械工具販売事業」と「合成樹脂事業」を新たに報告セグメントといたしました。

この結果、2012年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社14社により構成されることとなり、リース事業、自動車メンテナンス受託事業、燃料販売事業、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業の7事業を営むこととなりました。なお、当該7事業はセグメント情報における区分と同一であります。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

報告セグメント名称	報告セグメントの内容	主な関係会社
リース事業	自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業、カーシェアリングサービスの提供並びにリース満了車等の処分	㈱イチネン 野村オートリース㈱ アルファオートリース㈱ ㈱イチネンカーシェアリング
自動車メンテナンス受託事業	自動車メンテナンスの受託及びこれに付随する中古自動車の販売業務、自動車の点検、法定点検及び整備等の自動車整備業	㈱イチネン イチネンBPプラネット㈱
燃料販売事業	石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集	㈱イチネン
ケミカル事業	ケミカル製品（自動車用、機械・設備用、工業用等）の製造・販売	㈱タイホーコーザイ
パーキング事業	来客用駐車場及びコイン駐車場の運営	㈱イチネンパーキング
機械工具販売事業	機械工具及び自動車整備工具の販売	前田機工㈱ ㈱トライアップ
合成樹脂事業	合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売	㈱ジコー ㈱ジコーテック ㈱ジコーポリマー ジコーインターナショナルLTD.

また、上記に含まれない事業の内容は次のとおりであります。

	事業の内容	主な関係会社
その他	卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務、不動産の賃貸及び管理	㈱イチネン ㈱セレクト

主な事業系統図は次のとおりであります。

